

秋田県福祉サービス第三者評価結果表(障害児・者版)

① 第三者評価機関名

特定非営利法人秋田県福祉施設士会

② 施設・事業所情報

名称：潟上ひまわりの里	種別：小規模多機能型事業所
代表者氏名：河井 津南子	定員（利用人数）：B型 20名(現員 11名) 生活介護 10名(現員 4名)放課後デイ 10名
所在地：秋田県潟上市天王字細谷長根 348-2	
TEL：018-827-6167	ホームページ： http://meiseien.akita.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 令和2(2020)年5月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人秋田旭川福祉会	
職員数	常勤職員： 7 名 パート勤職員 1名(職業指導員)
専門職員	サービス管理責任者、児童発達管理責任者、保育士、看護師など 7名
施設・設備の概要	木造平屋建て1棟の中に、「就労継続支援B型」「生活介護」「放課後デイサービス」の各事業所あり。それぞれの事業所入口、共有のホール(兼食堂)・入浴設備あり。

③ 理念・基本方針

【理念】大切なのは…自らの役割や居場所を見つけ、仲間と助け合い地域で暮らすこと。

【基本方針】(1)利用者の年齢・特性を十分に尊重し、自分らしく生きていけるよう自ら生きる力を生み出すための支援を行います。(2)利用者への権利擁護を強く持ち、より専門的な支援ができるようスキルアップに努めます。(3)立地する地域の特性を踏まえ、地域に目を向け地域に溶け込んだ福祉活動を展開していきます。(4)将来的な利用者の高齢化に備え、ハード・ソフト利用面から手厚い支援できるよう環境づくりに努めていきます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

令和2年5月1日開設。広々とした敷地の中に「木造平屋建て1棟」があります。就労継続支援B型、通所生活介護、放課後デイサービスの3事業所が同居しています。自宅までの送迎付きと、入浴介助や排せつ介助、食事介助の専門性が必要とされており、開設後6か月経過しています。利用者と家族の要望を取り入れ、利用者担当者は決まっているものの、所属にとらわれず「情報の共有」があり、通所する利用者に対して寄り添った対応をしています。毎日が新しい出来事であり、利用者・職員ともに丁寧な関係を作り、緊迫した日々を過ごしています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月7日（契約日）～ 令和2年12月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（平成 年度）

⑥ 総評

◇現状での観察点として（創設後6か月経過なので、全体的雰囲気）

- ・作業現場では、利用者が尊重され、穏やかなサービスが展開されており、少人数のために一人ひとりの利用者に職員が目が行き届いています。
- ・就労継続支援B型は、同法人の「明成園」との連携の下、「私物・タオルたたみ」や「トイレトーパー包装紙巻き」を中心に展開されています。職員が寄り添い、丁寧な接し方が見て取れます。広々とした建物内で利用者が安心と安全が確保されています。
- ・理念・基本方針については、「朝の朝礼」や「帰りの会」で確認事項としています。
- ・利用者アンケート結果から、利用者の送迎は、保護者に喜ばれていることがあげられます。

◇今後の課題等

- ・発足後間もないですが、それぞれの3事業所単位に経営状況を分析し、職員と利用者の安定的絆を考慮に入れながら定員充足に近づけていけるように配慮すること。
- ・その際に、中・長期的計画を作成し、年度末の評価・見直しを中心に組織として職員の「あるべき姿」を共有しながら、利用者・保護者とともに着実に安心・安全な段階を踏まえて、丁寧に活動していけるような、地域に開かれた環境整備を期待しております。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開設初年度ではありますが、第三者評価を頂きありがとうございました。事業所としてまだまだ手探りな面も多く、今後の課題も多い状態です。今回の第三者評価の中で利用者の家族へのアンケートにて、さまざまなご意見やご要望を頂いております。改めて利用者や家族の言葉の大切さや、重さを実感する機会となりました。一つ一つの言葉を真摯に受け止め、これからも利用者ファーストの気持ちで過ごしていきます。また今回のアンケートのようなご意見をいつでも受け付ける体制を確立し、利用者や家族が真に望むサービス提供を行いたいと考えております。

まずは中・長期計画の作成は早急に行い、ひまわりの里のビジョンを明確にしたうえで、職員のあるべき姿を共有していきます。期待して頂いているような地域に開かれた施設としてあれるよう、努めて参ります。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

【共通評価項目】(45項目)

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<p><コメント>理念、基本方針は明文化され、各部署の壁にかかげられていますが、職員のみではなく、利用者・保護者にも周知し、確認の継続性が求められます。創立の精神として根付くことを期待します。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<p><コメント>現状の利用者は、就労継続支援B型11名(定員20名)、生活介護4名(定員10名)、放課後デイ8名(定員10名)となっており、今後とも地域環境を分析しながら、定員充足を期待しています。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p><コメント>特別支援校や関係機関との連携で、課題を明確にしていますが、今後の取り組みを期待します。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
<p><コメント>例えば、施設の増築や利用者の充足状況、職員の研修など「職員のあるべき姿・目標」の実現を中・長期にわたって計画する目安が考えられますが、今後の課題です。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
<p><コメント>中・長期計画を踏まえた単年度の計画が見えませんが、今後の課題です。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント>事業計画は、最初に「理念・基本方針」から始まり1年間を通して取り組んでいく事項を全体的に網羅しています。それを踏まえて各部署の「B型」「生活介護」「放課後デイ」の「運営の基本方針」「支援方針」「サービスの内容」「年間行事」など記載されています。評価・見直しも含めて今後の取り組みに期待します。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント>保護者に対しては、事業計画書を配布し、説明していますが、地域にも内容を周知するよう期待します。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント>3部門の福祉サービスは職員によって組織として共有(朝礼・全体会議など)されています。今後は、専門性による知識や技能の獲得のために教育・研修の機会獲得にも軸足を置き、意識を切り替える必要があります。今後は期待します。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント>組織として、まだ、評価結果には至っておりません。課題の文章化などの共有化がなされていますが、評価・見直しを踏まえた、来年度に向けた組織の取り組みの明確化を期待します。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p><コメント>管理者の役割と責任は文章化され、会議などで周知していますが、今後はさらなる積極的なリーダーシップを発揮するよう要望します。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<p><コメント>幅広い法令遵守について把握しておりますが、職員等についてもっと積極的な取</p>		

り組み(リーダーシップ)を期待します。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント>職員による管理者の評価は、「開設して半年に。五里霧中で今日に至っています。管理者の積極性を今後に期待しています。」とあるように、今後とも福祉サービスの質の向上に向けて期待します。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント>利用者の入浴や緊急を要する場合、管理者が自ら進んで行動をとり、現場の状況を察知することにより、取り組んでいます。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p><コメント>今のところ、「利用者の居場所の確保」が最優先され、職員と利用者の居心地の良い取り組みが実施されています。必要な人員は確保されています。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント>理念・基本方針に基づいた「期待する職員像」「人事考課と目標管理」を文章化し明確にしていますが、組織的な取り組みについては今後に期待しています。全職員の共有の下で組織化する必要があり、その意味は職業によるキャリアデザイン過程を構築することです。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p><コメント>職員の側から見て、ライフワークバランスや有給休暇取得・職員の健康と安全などに配慮するために、「相談窓口」部門を明確化し、働くための職員の意識の差を考慮した取り組みが求められます。管理者の包容力、やさしさといった話やすさが職場雰囲気を作っていますが、管理者以外の職員がよいと思います。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
<p><コメント>職員の質の向上については、研修体制の構築に取り組むこと。研修体制は基本姿勢の文章化が必要です。仕事上の実務に必要な資格、介護福祉や保育士の資格が保有されていますが、今後の課題として利用者個別による専門性の獲得に取り組むことを希望します。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、	c

	教育・研修が実施されている。	
	＜コメント＞コロナ禍の中での研修になりますが、放課後ディサービス部門での研修が実施されていますが、各部門での必要な専門研修には積極的参加、リモート参加を期待します。	
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
	＜コメント＞集合研修では、コロナ禍なので、OJT に力を入れています。	
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	＜コメント＞実習に関しては、マニュアルがあるものの、まだ実習生がありません。	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	＜コメント＞ホームページには、理念基本方針の発信、行事についての写真公開、定められた情報公開がありますが、第三者評価・苦情解決といった情報公開も望まれます。	
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	＜コメント＞事務・経理・取引等に関するルール、それぞれの職員の職務分担もルール化されています。税理士等による外部監査も行われ、指導も含めて業務が進められています。職務分掌も今年度に作成されており、ルールが明確にされているものの、年度末評価 が期待されます。	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	＜コメント＞地域との交流について基本的考えは文章化されているものの、今年度はすべて行われていません。コロナのためと言っていますが、今後コロナに負けないような創意工夫された取りみを期待します。	
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	＜コメント＞地域ボランティアとして受け入れ実績はなされていませんが、マニュアル等は 整備	

されています。利用者の就労、見学・説明等は実施され取り組んでいます。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
＜コメント＞関係機関との連携や必要とされる社会資源が明確にされ職員で共有化されています。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	c
＜コメント＞子ども食堂や地域住民の見学会を予定していたようですが、コロナ禍ですべて中止となっています。創意工夫を期待します。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
＜コメント＞今後の取り組みに期待します。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
＜コメント＞理念や基本方針に、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示されています。朝礼や会議等では「利用者ファースト」で支援するよう周知・認知を図っています。今後は、「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を期待します。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービスが行われている。	c
＜コメント＞利用者の日常生活におけるプライバシー保護は、利用者を尊重した福祉サービスの提供における重要事項でありマニュアル化はされていないが取り組まれてはいます。今後は、プライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に理解を図るための取組を望みます。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
＜コメント＞福祉サービスの利用希望者が、福祉サービスを選択するために必要な情報提供はその都度行われていますが積極的までには至っていません。今後は、情報提供の方法、内容等について配布・活用状況、利用者や家族等の意見等を必要に応じて聴取し定期的な見直しを望みます。		

31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b
<p><コメント>福祉サービスの利用希望者が、福祉サービスを選択するために必要な情報提供はその都度行われていますが積極的までには至っていません。今後は、情報提供の方法、内容等について配布・活用状況、利用者や家族等の意見等を必要に応じて聴取し定期的な見直しを望みます。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所等の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	c
<p><コメント>福祉サービスの内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されていますが欠落している部分があります。今後は、利用者への福祉サービスの継続性を損なわないような配慮のもとに、引継ぎや送りの手順、文書の内容を定める取組を期待します。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	c
<p><コメント>利用者満足の上昇を目的とする仕組みが、整備されていません。福祉サービスにおいては、専門的な相談・支援を適切に実施する一方、利用者満足を組織的に定期的な調査・把握してサービスの質の向上に結びつける取組を望みます。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	c
<p><コメント>苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）はありますが、機能していません。今後は、苦情解決の取組を、利用者保護の視点と同時に、福祉サービスの質の向上に向けた取組の一環として積極的に捉え、解決手順・結果公表等の具体的な取組を期待します。</p>		

35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	c
<p><コメント>利用者の相談や意見に関する取組について、利用者や家族等に十分に周知されている必要があります。日常的に接する職員以外に相談窓口を設置するなど、専門的な相談、あるいは直接相談しにくい内容の相談等、相談内容によって複数の相談方法や相談相手が用意されているような取組を期待します。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	c
<p><コメント>利用者からの意見が把握できるよう本館休憩室に意見箱を設置しています。今後は、意見や要望、提案等への組織的対応とするマニュアルの整備のほか定期的な見直しにより福祉サービスの質の改善に繋げていく取組を望みます。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p><コメント>リスクマネジメント体制が整備されて事故発生時の対応と安全確保について責任、手順等を明確にして職員に周知しています。今後は、事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しの取組を期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント>感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底を図っています。今後は、感染症対策について責任と役割を明確にした管理体制の整備に期待します。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p><コメント>防災マニュアルが整備され、「想定される災害、災害時の対応・体制、日ごろの備え」について職員に周知徹底を図り安全確保に組織的取組をしています。定期的に火災・地震等を想定した避難訓練を実施していますが、対策の問題点の把握や見直しと併せて非常食や備品類の備蓄を行う取組を期待します。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
<p><コメント>提供する福祉サービスの標準的な実施方法が文書化され、利用者一人ひとりの個人ファイルにより書類を全てまとめています。今後は、標準的な実施方法にもとづいて福祉サービスが実施されているか確認する仕組みづくりへの取組を期待します。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント>利用者とのモニタリングを年2回（前期・後期）実施し、個別支援計画の変更・見直しに取組んでいます。今後は、福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施される仕組みづくりを望みます。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的支援計画を適切に策定している。	b
<p><コメント>アセスメントにもとづき福祉サービス実施計画（個別支援計画）を作成していますが職員によって計画内容に差が生じています。今後は、サービス管理責任者を中心に部門を横断したさまざまな職種の関係職員が参加し協議する事で計画内容の差が生じない取組を期待します。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	c

<p><コメント>前期・後期のモニタリングや利用者支援会議を行い、個別支援計画の評価・見直しをされていますが、目標そのものの妥当性や具体的な支援、解決方法の有効性等について検証し利用者の意向の確認と同意を得られる取組を期待します。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービスの実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	b
<p><コメント>利用者に関する福祉サービス実施状況の記録は管理されており、職員全体で情報の共有ができています。今後は、組織における情報の流れが明確にされ、知っておくべき情報が職員に正確に伝わる仕組みづくりを望みます。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	c
<p><コメント>個人情報保護マニュアルは整備されていますが、機能していません。今後は、利用者や家族に個人情報の取り扱いを説明する対応や個人情報の観点からも職員に対する教育・研修への取組を期待します。</p>		

【内容評価項目】

A-1. 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
<p>A-1-(1) 自己決定の尊重</p>		
①	<p>A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	b
<p><コメント>利用者やその家族の思いに寄り添い、個別支援計画に反映されています。それぞれの場面における支援において合理的配慮がなされ、結果として落ち着いて過ごすことができています。利用者一人一人伝わる言葉を選び、声のトーンにも気を配っている様子もうかがえましたが、それが統一される場所までは至っていませんので、今後の職員のスキルアップが期待されます。</p>		
<p>A-1-(2) 権利侵害の防止等</p>		
②	<p>A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。</p>	c
<p><コメント>虐待防止委員会を設置し定期的にミーティングを実施しておりますが、利用者が権利について理解するための取り組みがなされていません。開設して間もない事情はありますが、ひとつずつ取り組まれていくことを期待します。</p>		

A-2. 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

③	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b
<p><コメント>利用者個々の心身の状況や生活習慣を理解し、個別支援計画に基づいた支援が提供されています。一人の人間として、自分でできることはやれるよう見守りながら支援されていますが、その人の持つ能力以上のことを求めがちな記載がありましたので、職員間の意識統一が求められます。</p>		
④	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b
<p><コメント>利用者の心身の状況を確認するため、毎朝のあいさつから帰りのあいさつまで声掛け等のコミュニケーションを重要視しています。</p>		
⑤	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b
<p><コメント>相談しやすいよう、相談室が整備されています。日常生活、作業の場でも利用者から訴えがあった際は傾聴する姿勢が伺われました。</p>		
⑥	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b
<p><コメント>個別支援計画に基づいて日中活動を実施しています。今年はコロナの影響でレクリエーション等当初の計画通りにはできていないようですが、予防対策をとったうえで代案を提供しています。開設したばかりではありますが、利用者のニーズによっては日中活動の多様化が今後求められることもありますので、取り組みに期待します。</p>		
⑦	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	b
<p><コメント>打ち合わせや会議で支援方法について話し合っているようですが、障害に関する専門知識の習得状況が課題となっています。業務が多岐にわたり余裕がない中ではありますが、職員一人一人が研修に参加したり資格取得を目指すなど、研鑽されることを期待します。</p>		
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>		
⑧	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
<p><コメント>入浴サービスの時間の変更等はあるようですが、夏場はB型利用者の方がシャワー等を使用する等、定型以上のサービスを提供しています。昼食はおかずは外部委託、ご飯と汁物は内部で調理していますが、お楽しみメニューとして牛丼などを調理し提供することもあり好評なようです。食事マナーはその都度声掛けをして伝えるなど生活場面で日常的に支援が行われています。</p>		
<p>A-2-(3) 生活環境</p>		
⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<p><コメント>新しい建物で、掃除が行き届いています。館内は明るく、ゆったりとしたスペースで利用者に配慮した生活環境が確保されています。トイレはバリアフリー、浴室も一般と特殊浴槽が備えられています。</p>		

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練			
⑩	A-1-(2)-⑨	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<p><コメント>機能・生活訓練の指示はないが、毎日ジュースを多数購入してしまう利用者に対して個別支援計画に声掛けと適度な運動を支援内容として挙げている事例がある。今後、このような日常的に実施している支援の展開を期待しています。</p>			
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援			
⑪	A-2-(5)-①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b
<p><コメント>健康状況は朝礼で確認するほか、常に職員が見守り気を配っています。また、利用者の健康管理は看護師が行っていますが、他職員も勉強中とのことですので今後に期待します。</p>			
⑫	A-2-(5)-②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
<p><コメント>医療的な支援は服薬管理のみとなっています。飲み忘れや誤薬に関して十分注意を払っており、薬の効果等に関しても成分表や説明書を確認し、理解されています。</p>			
A-2-(6) 社会参加、学習支援			
⑬	A-2-(6)-①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b
<p><コメント>アンケートでは外出レクリエーションや散歩といった要望が出ていますが、コロナ禍の影響で思うようにいかないようです。この状況が落ち着き日常生活が戻ってきたならば、地域内でのボランティア活動などの展開を期待します。</p>			
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援			
⑭	A-1-(3)-③	利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b
<p><コメント>学校や各関係機関と連絡を取り合っ、地域生活継続のための支援を行っています。地域生活移行に関しては確認することができませんでした。</p>			
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援			
⑮	A-1-(4)-①	利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<p><コメント>日常の情報交換は、送迎の際に行っています。また、放課後デイサービスでは連絡帳を活用してします。アンケートでは利用者家族からの好意的な意見が多く、職員との関係性が良好なものとは推察されます。</p>			

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援			
⑯	A-3-(1)-①	子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント>個別・集団活動を組み合わせ支援計画を立て支援を行っています。現在は職員の経験</p>			

が浅いながらも支援に取り組んでいます。これから職員それぞれが研鑽と経験を積むことで、チームとしての力を持ちより良い支援が実現できることを期待しています。

A-4. 就労支援

A-4-(1) 就労支援			
⑰	A-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a
<p><コメント>クリーニングやトイレレットペーパーの包装作業が主な生産活動となっています。利用者一人一人の障害特性や適性に配慮して作業内容を決め、働く意欲の維持・向上に努めています。</p>			
⑱	A-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	b
<p><コメント>先達である明誠園のノウハウを活かし作業所の運営を行っています。開設間もないことや、人的にも余裕がないため、工賃アップのための受注先開拓は明誠園頼みであるようですが、今後ひまわり園としての取り組みが期待されます。</p>			
⑲	A-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	非該当
<p><コメント></p>			